

1. 研究課題名： 地域インベントリ解析による環境成長拠点の計画と評価モデルの開発

2. 研究代表者氏名及び所属：

藤田 壮 （独立行政法人国立環境研究所）



3. 研究実施期間：平成 26～28 年度

4. 研究の趣旨・概要

低炭素都市、地域循環や環境成長の計画と事業に科学的で信頼性の高い根拠を与える評価研究への期待が国内外で急速に高まっている。本研究では、地域特性に適合した環境成長プロセスを計画し、その効果を算定するため、地域インベントリ分析と統合評価を組み合わせるマルチスケールのモデル群を開発し、持続可能な環境都市の将来ターゲットと、そこに至るロードマップの設計手法を構築する。さらに、得られた成果を社会実装するプロセスを学術的に明らかにすることにより、環境省の温暖化対策地方実行計画や自治体の環境計画の作成に貢献するとともに、連携研究体制を構築している福島県・新地町等の実都市における具体施策の立案に貢献する。

5. 研究項目及び実施体制

- ①地域の関係主体と協働する社会実装システムの開発（国立環境研究所）
- ②都市・地域のインベントリ解析モデルの開発（国立環境研究所）
- ③地域エネルギー・資源マネジメントのプロセスモデル（国立環境研究所）
- ④フロー効率化を可能にする都市ストック更新システム（名古屋大学）
- ⑤地域における環境経済価値のための統合評価モデルの開発（国立環境研究所）

6. 研究のイメージ

